

アクリル説教台 組立説明書

ご購入頂きました製品(「キャスター:なし」/「キャスター:あり」)により、付属品が異なります。該当する組立手順をご参照下さい。※**[2]**以降は共通



ご注意

- ・安全の為に組立作業は必ず2名以上で行って下さい。
- ・破損の恐れがある為、ネジは緩まない程度の締め加減にして下さい。強く締め過ぎると破損する恐れがあります。
- ・半年に数回はネジの緩みがないか点検して、緩んでいる場合は増し締めをして下さい。

【パーツ一覧】

□天板 ×1 □底板 ×1 □柱板①(幅が短い) ×1 □柱板② ×1 □柱板③(幅が長い) ×1
 □化粧ネジ □スペーサー □ボルト □止めネジ □六角レンチ

【キャスター:なし】

□滑り止め

【キャスター:あり】

□キャスター

□ワッシャー □スパナ

×2 ×2 ×18 ×1 ×1

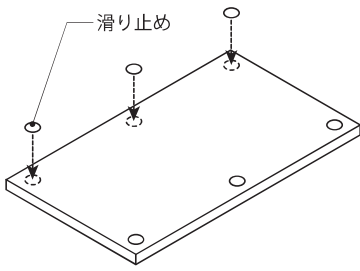
×1

×2 ×2

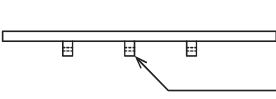
×8 ×1

【キャスター:なし】

[1] 垂直の突起が3箇所ある四角い板(底板)の裏側に、滑り止めを6~8箇所貼り付けます。



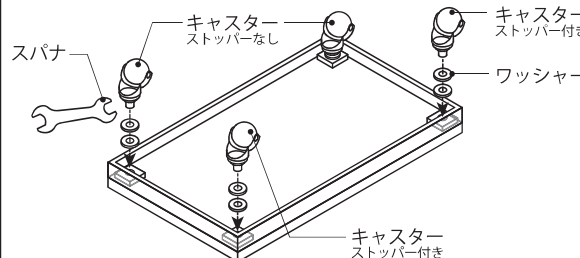
横から見た図



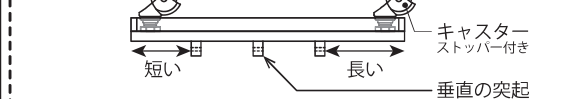
垂直の突起

【キャスター:あり】

[1] 5面体(底板)の垂直の突起とフチの距離を確認します。距離が長い側に「ストッパー付き」、短い方に「ストッパーなし」のキャスターを、2枚ずつ重ねたワッシャーと一緒に取り付けます。指で締められるまで締め込んだら、スパナで固定します。



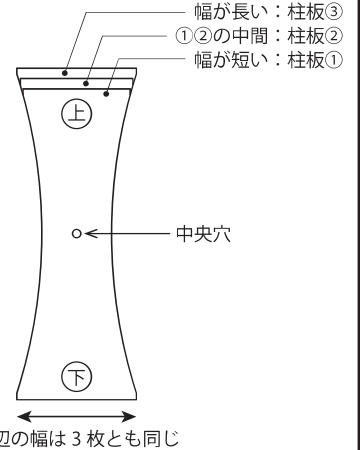
横から見た図



垂直の突起

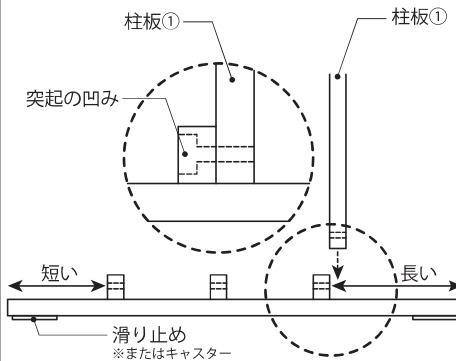
[2]

柱板を3枚合わせて、サイズと向きを確認します。下辺の幅は3枚とも同じで、上辺は異なります。

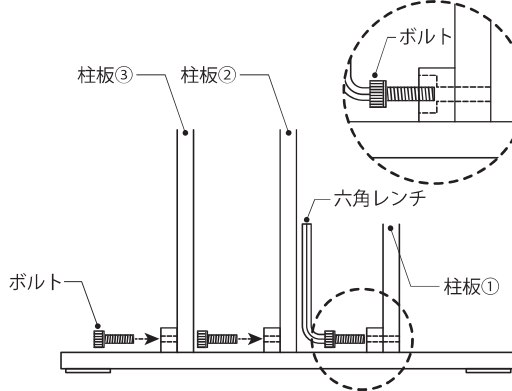


下辺の幅は3枚とも同じ

[3] 底板の突起が上向きになるように置き、フチから突起までの距離が長く突起の凹みがない方へ柱板①の下辺を合わせます。※キャスタータイプはストッパーでロックした後に組立作業を行って下さい。

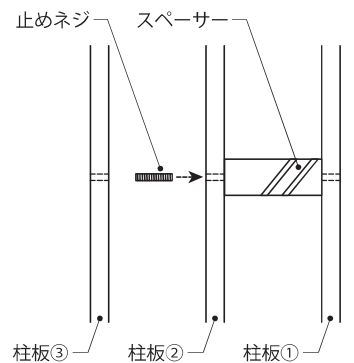


[4] 突起と柱板の幅が揃っているか確認します。突起の凹みにボルトを差し込み、指で締められるまで締め込んだら、六角レンチで固定します。柱板①→②→③の順番で取り付けます。

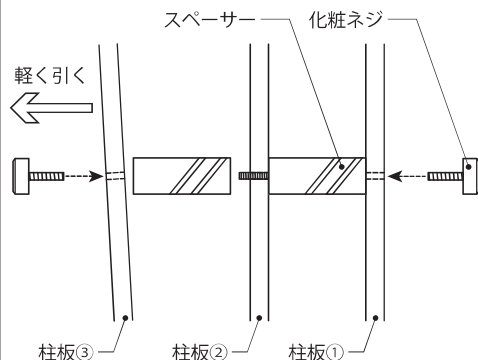


[5]

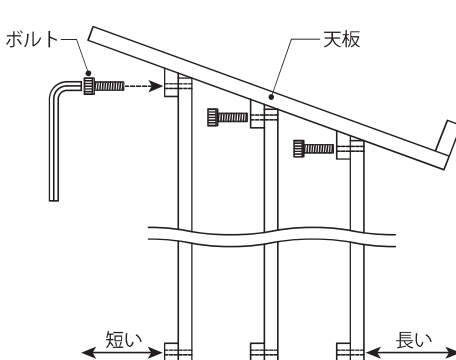
柱板①と②の中央穴にスペーサーの穴を合わせて止めネジをねじ込みます。止めネジは柱板②から10mm程度飛び出る位置まで締め込みます。



[6] 柱板③を後方に軽く引いて隙間を空けて、止めネジにスペーサーを固定します。柱板③の位置を戻したら、柱板①と③の中央穴に化粧ネジを固定します。



[7] 天板の突起が柱板の後ろ側になるように乗せて、突起の凹みにボルトを差し込み、指で締められるまで締め込んだら、六角レンチで固定します。



[8]

ぐらつきがなく、ボルトがしっかりと固定されている事を確認したら、作業完了です。

